

つくば国際会議場(茨城県つくば市)で、2017年3月21日(火)・22日(水)と2日間にわたって開催された「つくばScience Edge 2017」。海外からの発表者12校74名をはじめ、見学者、協賛企業・大学、研究機関などを合わせ、来場者数は合計1,280名(2日間延べ人数)となりました。たくさんの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

本年度も、つくばサイエンスアカデミーの先生方、つくば国際会議場指定管理者JV各社の協力を得ながら盛大に開催することができ、国内56校・海外12校、合計68校(全204チーム)より参加いただきました。

オーラルプレゼンテーション8チーム、サテライトプレゼンテーション10チーム、英語ポスターセッション53チーム、日本語ポスターセッション143チームが、科学に関するアイデアを発表しました。



【サイエンスワークショップ】(3月22日)

今年も、最先端の化学を研究する企業、団体、大学等の協力により、自然化学や医学分野など、11の多彩なワークショップ(各2回)が開催されました。今年は延べ710名が参加されました。



【国際交流会】(3月21日)

21日(火)の夕方は、韓国、台湾、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、シンガポールと日本の中高生約100名が集い、国際交流会を開催。広尾学園高等学校の生徒が会の立案と進行を行い、ゲームをしながら親交を深めました。開催にあたっては、株式会社サマテイ様にご協力いただきました。



主催/つくば Science Edge 2017 実行委員会

共催/株式会社JTB関東、株式会社JTBコーポレートセールス、つくばコンgresセンター

後援/文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、茨城県、つくば市教育委員会、つくばサイエンス・アカデミー

協賛・協力/タンガルーマリンエジュケーションセンター&コンサベーションセンター、お茶の水女子大学、

東京工業大学、東京農業大学、日本大学理工学部、東邦大学、シンガポール政府観光局、

株式会社ビクセン、茨城県立自然博物館、茨城県立歴史館、茨城県陶芸美術館、

アクアワールド茨城県大洗水族館、水戸芸術館、

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、筑波大学、

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK)、

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、特定非営利活動法人日本サイエンスサービス(NSS)

◆オーラルプレゼンテーション／ポスターセッション／サテライトプレゼンテーション

【サイエンスアイデアコンテスト】

オーラルプレゼンテーション、ポスターセッションは、日頃の研究成果を第一線で活躍する科学者・研究者の前でプレゼンテーションできる機会です。緊張しつつも堂々と発表する生徒たちに、審査員の先生も熱心に耳を傾けていました。英語ポスターセッションは、高いレベルで拮抗し、審査員特別賞も設定いたしました。今回は多くの方にプレゼンテーションの機会を与えられるよう、サテライトプレゼンテーションも設定いたしました。10校に発表いただきオーラルプレゼンテーションさながらの真剣さには、多くの方から好評をいただきました。



【受賞結果】(敬称略)

●オーラルプレゼンテーション

創意指向賞 東京大学教育学部附属中等教育学校 / 加賀三鈴

「動かない植物のもつ気孔開閉を介した環境適応能力」

探究指向賞 札幌日本大学高等学校 / 佐藤琉聖, 三戸柚香, 佐藤滉大, 河原林正思

「磁石球間及び磁石球/鋼球間に働く磁気力と距離の関係(第2報)」

未来指向賞 池田学園池田中学・高等学校 / Sachiko FUJITA, Nao SASAKI, Sara TAGAMI

「Regional comparison of ants at ports in southern Japan V—monitoring of alien ant species」

●英語ポスターセッション

第1位 市川学園市川高等学校 / Keii Go

「Artificial Photosynthesis — Formic Acid Generated from Carbon Dioxide by Using Tantalum Oxide/Tantalum Plate and Novel Visible Light Response —」

第2位 東京工業大学附属科学技術高等学校

/ ISHIZEKI Kota, YAMANAKA Ichiya, JUNG Soohwan, ITO Hikaru

「Understanding Conical Pendulum Movement(CPM)convergence using

“CanSat”s rotation - Controlling the annoying CPM!」

第3位 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 / Taketomi Takumi

「Biomass Close to You ~ To Identify Inhibitors of Gas Generation ~」

【審査員特別賞】

立教池袋中学校・高等学校 / Taisei Shimabukuro

「Improving the light intensity and light emission time of Peroxyoxalate - Chemiluminescence2」

Changwon Science High School / Jin-Pyo Bae, Jae-Yong Kwon, Gwang-Ho Yu

「An Mathematical Analysis of Subconscious Human Behavior Using Set Theory」

●日本語ポスターセッション

第1位 茨城県立つくば工科高等学校 / 畠井利緒, 成島愛華, 藤浦瑠奈, 難波綾花

「主婦を育てる家事支援ロボットの研究」

第2位 山村学園山村国際高等学校 / 高野美穂, 新井倭愛

「マウス腸内フローラから観察したマヌカハニーの機能性」

第3位 兵庫県立加古川東高等学校 / 玉田麗, 荒谷健太, 頃安祐輔

「校内で使用・再現可能な微小重力実験の確立」

詳細な報告書(印刷物)の配布、およびWEBサイトへのアップは、6月上旬頃を予定しています。オーラルプレゼンテーション、サテライトプレゼンテーション、ワークショップの詳細については、ぜひそちらをご参照ください。

次回開催決定!! 2018年3月23日(金)~24日(土)